

臨床検査科

臨床検査科技師長 熊川 忠

1 部門目標

- ・学会・外部研修会への参加率向上と、自己研鑽。資格・認定資格取得の向上
- ・他職種への指導研修会を開催する
- ・院内研修への参加率向上

2 業務体制・スタッフ

臨床検査科は、採血、検体検査（生化学・免疫・血清・血液・凝固・尿一般・輸血・細菌微生物）、生理機能検査、耳鼻科関連検査、病理・細胞診検査の各部門を検査技師 19 名、非常勤検査技師 4 名と委託職員(BML)6 名の合計 29 名（1 名育児休暇のため実質 28 名）のスタッフで運営し、日直・宿直・夜間勤務については常勤職員 1 名と委託職員 1 名の計 2 名で対応している。（委託会社は生化学・免疫・血清検査を実施）

3 業務実績

検査総件数は、昨年度 121.8 万件に対し、今年度は救急科が開設されたため 137.1 万件と 13%程度増加している。院内各種委員会等にも積極的に参加し、主な委員会としては、輸血療法委員会（副委員長）、感染防止対策委員会(事務局)、医療安全管理対策委員（セーフティーマネージャー）、SCT 委員会、ICT 委員会(委員長)、NST 委員会などチーム医療に参加し、CPC を開催するにあたり資料作りなど日常の業務と平行して励行し、病院運営に寄与している。そして例年通り 4 月から 8 月に 1 名、6 月から 8 月に 1 名、合わせて 2 名の臨地実習指導を行った。

4 1 年間の総括

医療法改正の施行に併せ標準作業書や台帳等を整備おこない、部門目標にあげた「学会・研修会への参加率向上と、資格・認定資格取得の向上」合計 144 人が 107 の学会・研修会に参加し、一人平均 6.0（昨年度 7.1）回の参加と昨年より減少したが年明けからのコロナによる学会、研修会の中止が影響あると思われる。そのような状況でも各分野で認定資格の取得に励み、より専門的な知識や技術の研鑽に努めている。「他職種への指導研修会を開催する」に関しては指導する開催出来なかったが他部門と参画して講演する準備は出来ていたので継続していけるよう他部門と努めていきたい。

5 今後の目標

高度な診療を支えていくためには更なる専門的な知識や技術が求められるため、今後も学会・研修会へ意欲的に参加し、自己研鑽に努め、技術・情報の収集・学会・研究会での発表・投稿を積極的におこなう機会を設け、医師や看護師の業務軽減につながる改善や、医療安全管理などのチーム医療に積極的に取り組み、病院運営に貢献していきたい。